

# 是非、避難カードの作成をお願いします！

一人でも多くの皆さまに作成して頂くために、住之江劇団より解説させていただきます。



同じマンションに住む石田さん(2階在住)と新山さん夫妻(7階在住)が、郵便受けの前でバッタリ出会いました。

①

石田さん: こんにちは！「避難カード」って入ってるけど、これ知ってる？

新山さん夫妻: こんにちは！うちには先日入っていたので、もう作り直しましたよ。

新山さん夫妻 石田さん

②

石田さん: 「避難カード」ってどうやって作るんやろ？難しそうやなあ。

新山さん: 防災マップと水害ハザードマップがあれば作れますよ。

③

石田さん: 水害ハザードマップで確認したら、うちのマンションの浸水想定が5mってなってるわ！どないしよう。うちは2階やから天井まで水に浸かるわ。避難所に行かないと！

新山さん: 災害が起こった時でも、自宅が無事で身の安全の確保ができるなら「在宅避難」、自宅が住めないときのために、親戚や知人宅への避難を検討しておくことが必要なんですって。「分散避難」って言うらしいですよ。

④

新山さん: 水害が起きた時は、うちに避難してきてくださいよ。7階だから大丈夫ですよ！

石田さん: そうなんだ。僕みたいに家が浸水してしまう時は、親戚や知り合いの家も大事な避難先になるんやね。

新山さん: 自分からは頼みにくかったんや。誘ってくれてほんとにありがと！水や食料は常に備蓄してるから、ちゃんと持っていくわな！コロナが流行ってる時やから、毎日の健康チェックもしてくわな！

⑤

新山さん: 今話しているようなことを事前に書いておくのが、この「避難カード」なんですね。実際に災害が起こった時ってパニックになっちゃうかもしれないから、事前に「避難カード」を作っておくことが大事だそうですよ。

石田さん: 本当に避難せなアカン時に冷静に避難行動ができるように、マップと「避難カード」の書き方(左ページ)を見てちゃんと作っておくわ。ありがとね。

**重要**

**防災マップ**

ご自宅から最寄りの避難所・津波避難ビルなどの避難先がわかります。(今月号の折込み別冊)

**水害ハザードマップ**

ご自宅の浸水想定が確認できます。(避難カードの裏面に掲載)

**重要**

災害発生時、避難生活するところは、避難所だけではありません。

特にコロナ禍では、避難所での感染の危険性が高まります。在宅避難、親戚・知人宅など多様な避難先を検討しましょう。(分散避難)

詳しくはこちら

